



おかげさまで90周年
これからも地域と共に100年へ

平成25年度上半期業績のご報告

日本海しんきん 半期開示レポート

日本海信用金庫の平成25年度上半期(平成25年4月1日~9月30日)における
経営情報について、ご報告いたします。

経営方針

1. 「日本海信用金庫ブランド」の確立

- 顧客満足度(CS)の向上
- 社会的責任(CSR)への対応
- 法令等遵守(コンプライアンス)の徹底

2. 「絆の経営」の実践

- 地域再生、活性化への積極的な支援
- 地域課題解決への協力
- 地域産業再生への支援
- 魅力ある商品、サービスの開発

3. リスク管理体制の強化とガバナンスの向上

- 統合的リスク管理への適切な対応
- 内部統制機能及びガバナンスの向上

4. 人材の育成

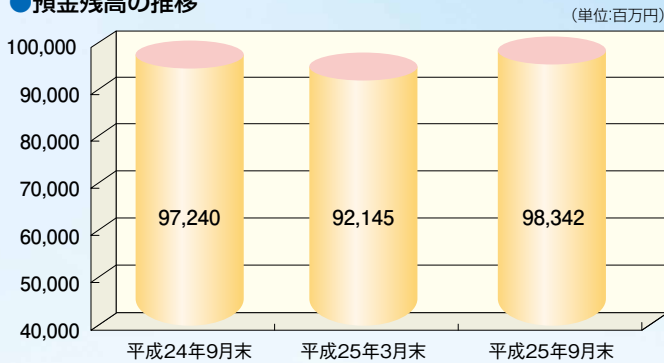
- 人間性あふれる優れた人材の育成
- 「人間力」豊かな課題解決型金融を担う人材の育成



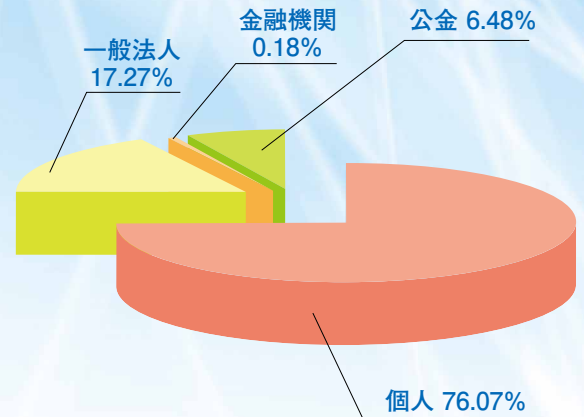
I 預金残高推移・内訳

地域のお客様のご支援により、預金積金は前年同月比1,102百万円増加の98,342百万円と堅調に推移しました。また、預金積金残高のうち個人預金が76.07%、一般法人預金が17.27%を占めております。

● 預金残高の推移



● 預金者別残高の割合(平成25年9月末)



(単位:百万円)

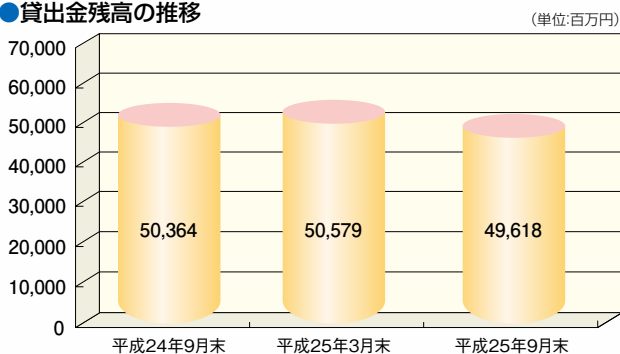
	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
個人合計	73,571	73,862	74,806
法人合計	23,669	18,283	23,536
うち一般法人	17,229	16,399	16,981
うち金融機関	165	111	179
うち公金	6,274	1,772	6,376
預金積金合計	97,240	92,145	98,342

II 貸出金残高推移・内訳

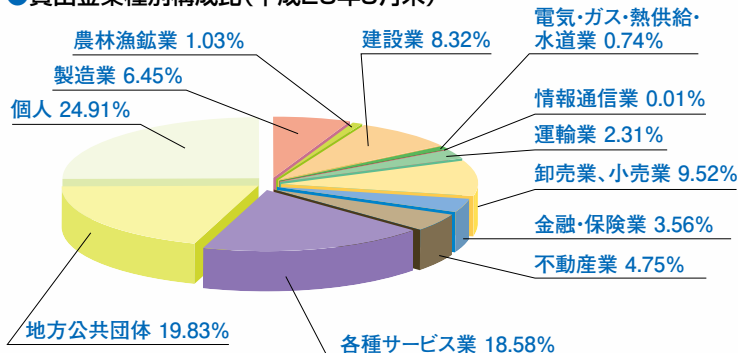
貸出金は前年同月比745百万円減少の49,618百万円となりました。

日本海しんきんは、地域金融機関としてお客様からお預かりした資金を地元の皆様に幅広くご利用いただいております。また、特定の業種やお客様に偏ることのないように留意するとともに、小口多数取引の推進に努め、貸出金資産の健全性を維持、向上していきたいと考えております。

● 貸出金残高の推移



● 貸出金業種別構成比(平成25年9月末)



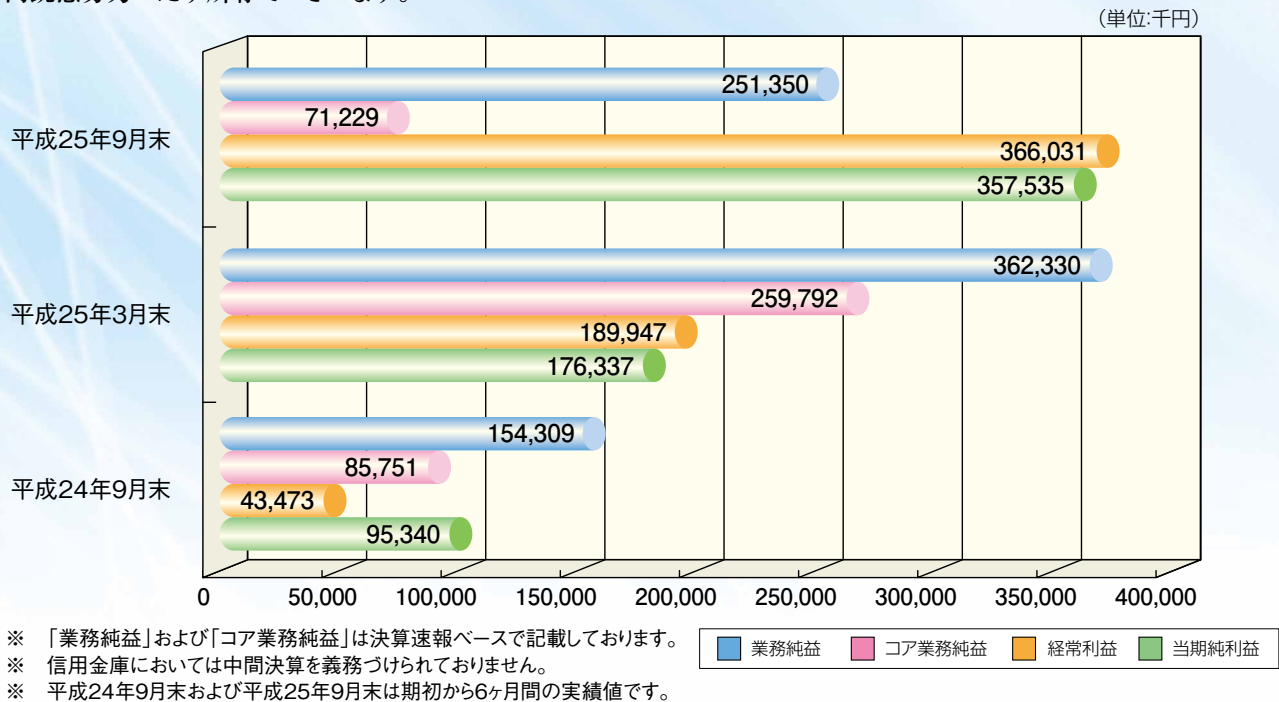
(単位:百万円)

日本標準産業分類	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末	貸出金業種別構成比の分類	
製造業	3,205	3,124	3,198	製造業	
農業、林業	60	57	61	農林漁業	
漁業	232	211	358		
鉱業、採石業、砂利採取業	78	32	93		
建設業	4,435	4,636	4,128	建設業	
電気・ガス・熱供給・水道業	338	357	366	電気・ガス・熱供給・水道業	
情報通信業	7	6	5	情報通信業	
運輸業、郵便業	1,217	1,291	1,144	運輸業	
卸売業、小売業	5,210	4,986	4,724	卸売業、小売業	
金融業、保険業	1,744	1,758	1,764	金融・保険業	
不動産業	2,143	2,641	2,355	不動産業	
物品賃貸業	545	521	414	各種サービス	
学術研究、専門・技術サービス業	349	345	329		
宿泊業	1,957	1,895	1,886		
飲食業	520	700	721		
生活関連サービス業、娯楽業	1,407	1,366	1,224		
教育、学習支援業	1,591	1,554	1,555		
医療、福祉	1,954	1,992	1,464		
その他のサービス	1,684	1,596	1,625		
小計	28,685	29,076	27,425		小計
地方公共団体	8,673	8,816	9,835		地方公共団体
個人(住宅ローン等別当資産等)	13,005	12,686	12,356	個人	
合計	50,364	50,579	49,618	合計	

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

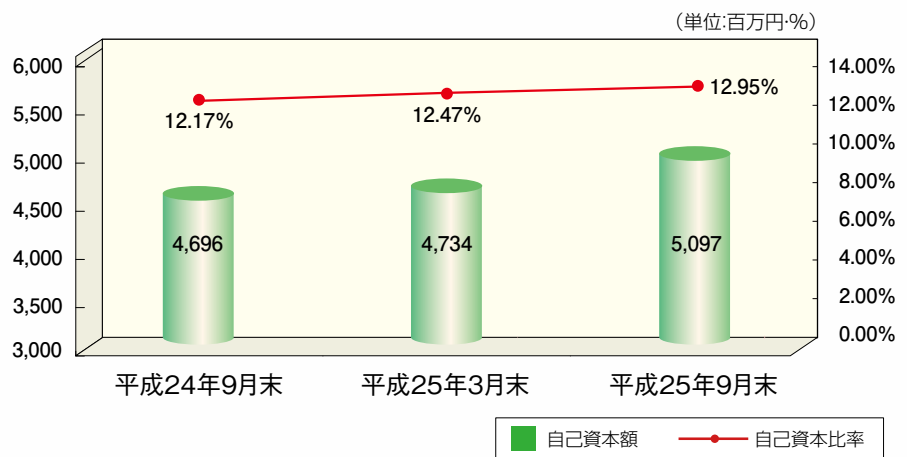
Ⅲ 損益の状況

平成25年度上期の業績は、業務純益251,350千円、経常利益366,031千円、当期純利益357,535千円となりました。“地域の責任金融機関”として、皆さまの期待にお応えすべく、「おかげさまで90周年 これからも地域とともに100年へ」を合言葉に、役員一同鋭意努力いたす所存でございます。



Ⅳ 自己資本比率について

自己資本比率とは、金融機関が保有する資産に対する自己資本の割合をいいます。金融機関の健全性・安全性といった基礎体力を見るうえで、重要な指標となっています。日本海しんきんの自己資本比率は12.95%と平成25年3月期と比較しますと0.48ポイント上昇し、国内基準である4%を大幅に上回っております。



(単位:百万円・%)

項目	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末	
自己資本額	基本的項目(Tier1)	4,462	4,518	4,879
	補完的項目(Tier2)	234	215	217
	自己資本額(A)	4,696	4,734	5,097
リスク・アセット	オン・バランス項目	34,945	34,450	35,737
	オフ・バランス取引等項目	339	266	380
	オペレーショナルリスク相当額を8%で除して得た額	3,286	3,228	3,228
リスクアセット等計(B)	38,572	37,945	39,346	
自己資本比率	(A)/(B)×100	12.17%	12.47%	12.95%

注:自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成20年金融庁告示第79号)に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除せずに自己資本比率を算出することになっておりますが、平成24年9月末、平成25年3月末、平成25年9月末は「その他有価証券の評価差損」はございません。

V 金利リスクに関する事項

銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例:貸出金・有価証券・預け金・預金・積金等)について、金利変動により発生するリスク量をみるものです。当金庫の平成25年9月末の金利リスク量は、過去5年間の金利変動データに基づき統計処理(99%タイル値)によって求められた金利変動幅を使用した場合、687百万円となりました。なお、要求払預金(普通預金、当座預金等)の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がありません。お客様の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、要求払預金の50%相当額を期間帯「1年超3年以内(平均2.5年)」に全額置き、リスク量を算定しております。

(単位:百万円)

	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
金利ショックに対する損益・経済価値の増減額	426	445	687

VI 有価証券の時価情報

●売買目的有価証券

平成25年3月末、平成25年9月末とも該当ございません。

●満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	平成25年3月末			平成25年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	278	281	2	199	200	0
	社 債	150	151	1	150	150	0
	そ の 他	731	799	68	372	432	60
	小 計	1,160	1,232	72	722	784	61
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	1	1	△ 0	77	72	△ 4
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	800	777	△ 22	800	774	△ 25
	小 計	801	778	△ 22	877	847	△ 29
合 計	1,961	2,010	49	1,599	1,631	32	

(注) 1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●子会社・子法人等株式および関連法人等株式

平成25年3月末、平成25年9月末とも該当ございません。

●その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成25年3月末			平成25年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	107	96	10	34	33	1
	債 券	21,271	20,551	719	18,652	18,226	426
	国 債	4,753	4,518	234	3,849	3,720	129
	地 方 債	1,568	1,504	63	1,554	1,504	49
	社 債	14,949	14,528	421	13,249	13,001	247
	そ の 他	3,298	3,172	126	3,390	3,265	124
小 計	24,677	23,820	856	22,078	21,525	552	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	24	25	△ 0	34	36	△ 2
	債 券	488	502	△ 13	1,607	1,631	△ 24
	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	99	99	△ 0	298	299	△ 0
	社 債	389	402	△ 13	1,308	1,331	△ 23
	そ の 他	733	802	△ 69	687	765	△ 78
小 計	1,247	1,330	△ 83	2,329	2,434	△ 104	
合 計	25,924	25,151	773	24,407	23,959	448	

(注) 1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成25年3月末	平成25年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	48	48
組 合 出 資 金	38	38
合 計	86	86

●金銭の信託

平成25年3月末、平成25年9月末とも該当ございません。

●第102条第1項第5号に掲げる取引

平成25年3月末、平成25年9月末とも該当ございません。

VII 不良債権への取り組み状況について

日本海しんきんは、毎期「金融検査マニュアル」等に基づき、厳格な自己査定を実施し、積極的な不良債権処理を行っております。不良債権に対する保全には貸倒引当金を計上する等万全を期しております。平成25年9月期の不良債権とされる合計額は3,894百万円となりましたが、約95%は担保、保証、貸倒引当金等でカバーされており、健全性・安全性に問題はございません。

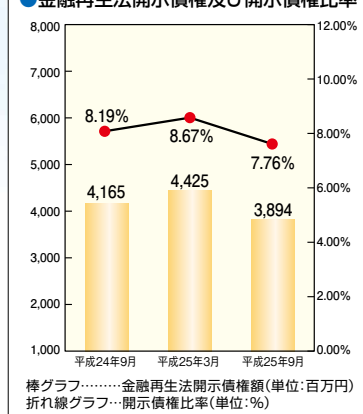
●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

		開示残高(a)	保全額(b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金(d)	保全率(b)/(a)	引当率(d)/(a-c)
①破産更生債権及びこれらに準ずる債権	H25年3月	2,035	2,035	698	1,337	100.00%	100.00%
	H25年9月	1,511	1,511	543	967	100.00%	100.00%
②危険債権	H25年3月	2,358	2,209	1,860	348	96.68%	70.00%
	H25年9月	2,352	2,200	1,845	354	93.54%	70.00%
③要管理債権	H25年3月	31	22	14	7	70.97%	44.87%
	H25年9月	30	22	14	7	73.33%	46.55%
④小計(①+②+③)	H25年3月	4,425	4,266	2,573	1,693	96.41%	91.44%
	H25年9月	3,894	3,734	2,404	1,329	95.89%	89.24%
⑤正常債権	H25年3月	46,599					
	H25年9月	46,259					
⑥合計(④+⑤)	H25年3月	51,024					
	H25年9月	50,154					

- 注) 1 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 3 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
 4 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、上記以外の債権をいいます。
 5 「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。

●金融再生法開示債権及び開示債権比率



VIII トピックス

災害ボランティア参加



島根県西部の豪雨災害の復旧作業に当金庫役職員も参加いたしました。



後継経営者育成塾「せがれ塾」



地域企業との継続的な関係構築のため、若手経営者に後継者としての知識・見識を勉強していただくため、せがれ塾を開催しております。

江の川祭り参加



地域行事にも積極的に参加しています。

